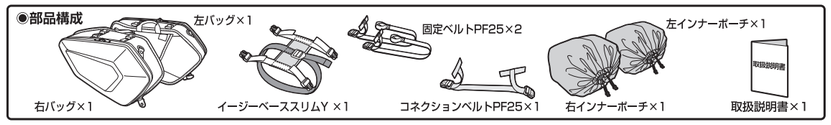
CARVING SHELL CASE 2

カービングシェルケース 2

〔取扱説明書〕

●この取扱説明書をよくお読みの上、安全に正しくご使用くださいますようお願いいたします。
●この取扱説明書はお読みになった後も、いつでも見られるように大切に保管してください。

◉部品構成



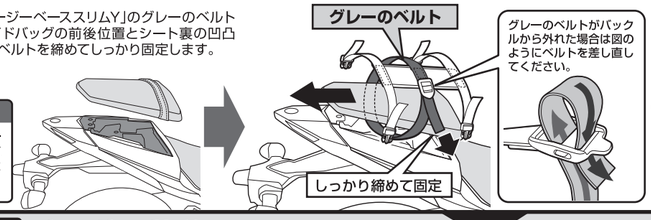
補修パーツのご案内
お求めはお近くの「モトフィズ」取扱店にてご注文ください。

部品番号	名　称	セット数
MP-359	固定ベルトPF25	1本
MP-373	インナーポーチ右	1個
MP-374	インナーポーチ左	1個
MP-367	イージーベーススリムY	1個
MP-369	コネクションベルトPF25	1本
●オプション　MP-336	延長フラップ	2枚
●オプション　MF-4749	プロテクターシートサイドバッグセット	1セット

バイクへの取り付け方法

1 イージーベーススリムYの取り付け

リアシートを外し「イージーベーススリムY」のグレーのベルトに差し込みます。サイドバッグの前後位置とシート裏の凹凸を避けた位置を選び、ベルトを締めてしっかり固定します。



⚠ 注 意
ベルトが車体側のフレームやフック等に挟まれて破断する事が無いようにご注意ください。

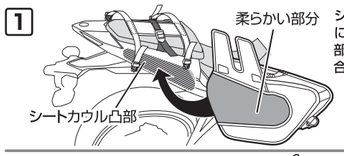
グレーのベルトがバックルから外れた場合は図のようにベルトを差し直してください。

Point バッグがウインカーやナンバープレート・マフラー等に干渉しないように、バッグ取り付け位置に合わせて前後位置を調整してご使用ください。

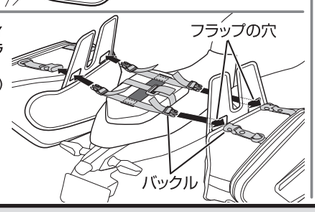


2 バッグの装着

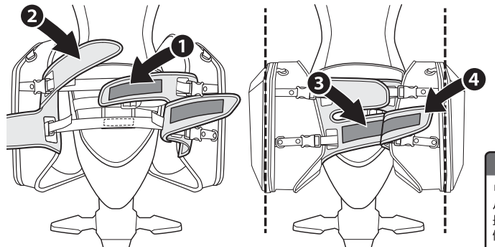
1 シートカウルの凸部分に合わせてバッグの凹部分(柔らかい部分)を合わせます。



2 イージーベーススリムYのバックル(オス)をフラップの穴から通し、バッグ上面のバックル(メス)へ接続して、左右のバッグがバランスよくぶら下がる様にベルトの長さを調整しながらバッグを繋ぎます。

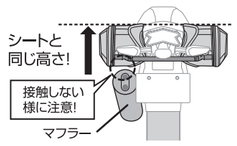


3 左右のフラップを引っ張りながら、フラップを貼り合わせます。この時、バッグ同士が図の様に平行になるように調整してください。



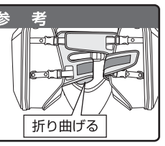
⚠ 注 意　取り付け前にフラップ裏の保護用生地をはがしてください。

Point バッグがシートと同じ高さになるよう取り付けます。



参　考

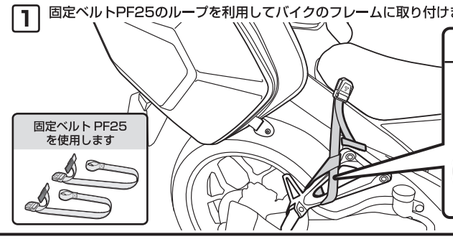
リアの車幅が狭くバッグのフラップが長すぎる場合は下側のフラップを折って上下を貼り合わせてください。



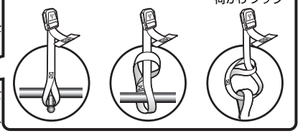
3 車体への固定

❶ バッグフロント側の固定

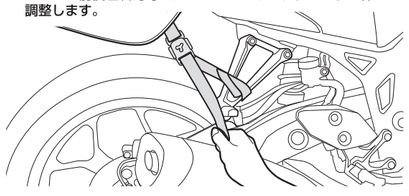
1 固定ベルトPF25のループを利用してバイクのフレームに取り付けます。



●固定ベルトPF25のループ使用例
●荷掛けフック　●車両フレーム　●ベルトタイプ荷かけフック



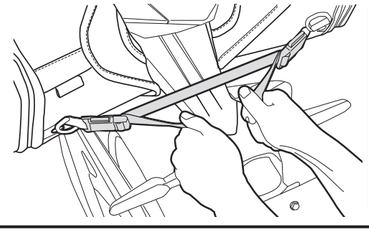
2 固定ベルトPF25のバックルを本体のバックルに接続します。バッグが前後左右均等のテンションになるようベルトを締め調整します。



❷ バッグリア側の固定

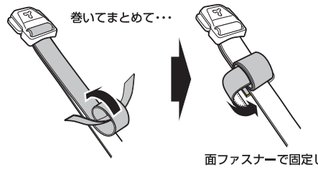
1 コネクションベルトPF25のバックルをバッグリア側のバックルに左右それぞれ接続します。バッグが左右均等のテンションになるようにベルトを締めます。





⚠ 注 意
●法令等に抵触する場合がありますのでウインカー、テールランプ、リフレクター等が隠れないように取り付けてください。
●ベルトがリアカウルにあたった状態で極度にテンションが掛からないようにしてください。
●コネクションベルトPF25は構造上リアカウルに負荷がかかりますので、極度にベルトを締め過ぎるとカウルが破損する場合があります。充分注意してください。

2 ベルト調整後、余ったベルトはTベルトストッパーでまとめます。



面ファスナーで固定します。

⚠ 警 告
●固定ベルト、コネクションベルトの取り回しは、ホイールやチェーン等の可動部分に絶対に接触しないようにしてください。
●余ったベルトはホイールやチェーン等の可動部分に絶対に接触しないよう安全な部分に巻き付けてください。
●取り付け後、及び乗車の前には必ず、安全な運転に支障がないか確認してください。
●上記の取り付け方を守らない場合、転倒等の重大な事故を引き起こす可能性があります。

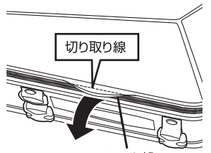
⚠ 取り付け上の注意

●法令を守りお取り付けください。
●シート・テールカウル・ウィンカーの形状等により、本製品を装着できない場合があります。事前に取り付け車両の形状を良くご確認ください。
●バッグは走行に支障のない、安定した位置に装着してください。シート形状や取り付け位置等により装着後も安定しない場合がありますので、走行前に必ず操縦に支障のない事を確認し、また脱落等の無いように確実に装着してください。
●荷物は前後左右均等にバランス良く収納してください。
●バッグ本体やベルト・バックル等が車両に当たる場合は、事前に市販のプロテクターシート（モトフィズプロテクターシート：別売り）等でその部分を保護する事をお勧めします。
●エンジン・マフラー・排気煙等、車体の熱くなる部分には触れる事の無い様に装着してください。
●バッグを使用しない時にバッグやセンター固定ベルト等を長時間シートに取付けた状態ですと、色移りする事がございます。特に暑い夏場等は適度に取り外してください。
●固定ベルト等に傷やほつれが生じた場合は、破損、脱落の恐れがありますので必ず交換してから使用してください。（補修パーツリスト参照）

バッグの使用方法

●ご使用前に

本製品（グロスブラックのみ）は PC シェル部に保護フィルムが貼られています。必ず保護フィルムを剥がしてからご使用ください。

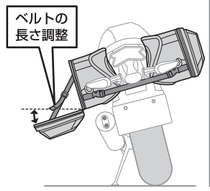


Point 保護フィルムはモール部をめくった中の切り取り線から剥がすとキレイに剥がれます。

⚠ 注 意　保護フィルムを貼ったまま長期間使用するとフィルムが固着し剥がしにくくなる恐れがあります。

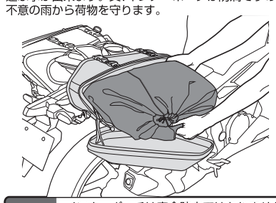
●開閉の調整

荷物が落ちないように車両の傾きを考慮してストッパーベルトの長さを調整してください。



●インナーポーチの使用方法

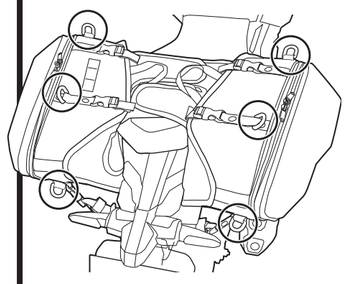
付属のインナーポーチを使用する事で荷物を容易に持ち運ぶ事が出来ます。又、インナーポーチは防滴ですので不意の雨から荷物を守ります。



⚠ 注 意　インナーポーチは完全防水ではありません。長時間雨中で使用する際や完全防水を希望する場合は、バッグ内の荷物をビニール袋に入れるなどの対策をしてください。

●上面積載の方法

バッグ上面と6か所のDリングを利用してシートバッグ等の安定した上面積載が可能です。



※上部積載は最大重量18kgです。

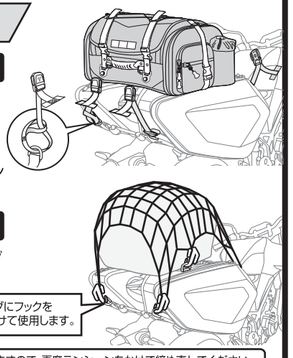
motoFizzシートバッグの積載方法

1 シートバッグに付属もしくはオプションパーツの固定ベルトのループを利用しDリングへ取り付けます。
2 固定ベルトのバックルをシートバッグ本体のバックルに接続し前後左右均等のテンションになるようにベルトを締め調整します。

[別売り]ツーリングネットでの積載方法

1 バッグ上面の6か所のDリングへツーリングネットのフックを引っかけます。
2 ツーリングネットを左右均等のテンションになるようにネットを調整します。

Dリングにフックを引っ掛けて使用します。



⚠ 注 意
●上部積載時、固定ベルトが緩む場合がございますので、再度テンションをかけて締め直してください。
●積載が不安定になりますのでD リング以外で上部積載はしないでください。
●シートバッグは K システムベルトでの取り付けは出来ません。固定ベルトをご使用ください。
●上部積載は最大重量 18 kgです。過積載にならないようご注意ください。

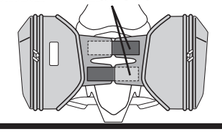
⚠ 使用上の注意

●法定速度以上での使用はお避けください。
●最大積載量を超える積載は脱落や車両の破損の恐れがあるのでお避けください。
●走行による振動等で固定ベルトが緩む場合があります。走行前には緩みがないか必ずチェックし、常に適切な装着状態で使用してください。
●角が鋭い重量物を入れると、内装が破損する恐れがあります。その場合はパッキン等で包んで収納してください。
●火災の原因になりますので、携帯ガソリンボトル、ガスボンベ等引火性の強い危険物は収納しないでください。
●林道や砂利道などの荒れた路面では振動でバッグが脱落する恐れがあります。路面の状況やスピードに充分注意して走行してください。
●バッグは生地や縫製方法など通常の使用での耐久性は充分に考慮されていますが、着脱時、ファスナーの開閉、バックルの扱いなどで無理な力を加えたり無理な扱いをすると破損する恐れがあります。大切にお取り扱いください。
●上面積載用 D リングを使用する場合、積載状態が不安定にならないように、確実に装着してください。
●寸法・容量等の表記につきましては、個体別の誤差が生じる場合がございますので予め御了承ください。
●仕様は改良のため、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
●取扱説明書に書かれている指示及び警告に従わない誤ったご使用により損害が発生した場合、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

オプションパーツ（別売り）の使用方法

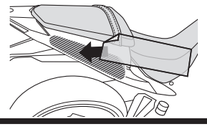
●延長フラップの使用方法

車両への取り付け時に車幅が広く、左右フラップの面ファスナーが届かない場合に MP-336 延長フラップを使用します。



●プロテクターシートの使用方法

バッグやベルトの接触面に貼る事で車体の傷付きを防止出来ます。モトフィズプロテクターシートは貼り付け場所により様々な形状をご用意しています。詳しくはタナックス Web サイトでご確認ください。



保管とお手入れの方法

●バッグは車体から外して保管してください。装着したままの保管をすると劣化を早めることがあります。
●表面等の汚れは、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭き取って、良く乾燥させてください。
●雨天走行等で濡れた場合は、そのままにせずバッグ内外の汚れと水分を拭き取りすべてのファスナーを開いて、日陰の風通しの良い所で乾燥させてください。
●保管の際は乾拭き・陰干しをしてから湿度、温度が低く風通しの良い場所に保管してください。

⚠ 注　意

ベンジン、シンナー、ガソリン等の有機溶剤の使用、及び水での丸洗いは生地を傷める原因となりますのでお避けください。

タナックス株式会社
千葉県流山市おおたかの森西 3-5-7　〒270-0128　TEL：04-7150-2450
TANAX CORPORATION
3-5-7,OTAKANOMORINISHI,NAGAREYAMA-SHI,CHIBA　270-0128,JAPAN　TEL : +81-4-7150-2450

TANAX WEBサイトへ 簡単アクセス! https://www.tanax.co.jp

KS1212132

MFK-3000/3001